男子1000 大和田（本別） 初優勝

自己ベスト1分17秒25

道高校スケート・アイスホッケー選手権

【男子千㍍】大和田真（本別）は1分17秒25のタイムでうれしい初優勝を飾る

【札幌】第61回北海道高校スケート競技・アイスホッケー選手権大会兼第64回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会北海道予選会（北海道高体連など主催）は25日、札幌市内の真駒内セキスイハイムスタジアムでスピードスケートの最終日、真駒内セキスイハイムアイスアリーナと月寒体育館でアイスホッケーの第3日の競技を行った。スピードスケートの男子千五百㍍は渡部知也（池田2年）が制し、前日の五百㍍と合わせて2冠を達成。女子三千㍍の門奈津実（同）は3位だった。（高橋宏幸、関根弘貴、折原徹也）

スピード

（24、25日・真駒内セキスイハイムスタジアム）

最終日の25日は午前に男子千五百㍍を行い、渡部知也（池田2年）が大会新となる1分55秒97をマークしたが竹田翔平（駒大苫小牧3年）に及ばず準優勝だった。第2日の24日は男女計4種目を行い、男子千㍍は今シーズン最初のレースとなった大和田真（本別2年）が1分17秒25の自己ベストを出して初優勝を飾った。女子千㍍は前日に五百㍍で優勝した神谷衣理那（白樺学園2年）が1分25秒40で制して高校入学後初の2冠を達成、土田愛（駒大苫小牧高3年―屈足中出）が1分26秒で準優勝、永田希絵（帯南南1年）が1分27秒07で3位と十勝勢で表彰台を独占した。女子三千㍍は門奈津実（白樺学園2年）が4分40秒77で3位に食い込んだ。歸山麻衣（駒大苫小牧3年）が4分36秒73で優勝した。

今シーズン初出場の大和田

故障明け、無心の滑り

指導者から祝福を受け、笑顔を見せる大和田真

男子千㍍は本別からただ1人出場の大和田真（2年）が2位の赤村駿佑（駒大苫小牧2年）を0秒21差でかわし、自己ベストを更新して初優勝に輝いた。大和田は「何も考えていなかった。滑り終えたときは2位かなと思ったけど…」と驚きを口にした。

今夏に右太ももを負傷した影響で今シーズン初の大会出場だったが、いきなり最高の結果を呼び寄せた。負傷してから約2カ月間は軽い練習しかできず、現在もまだリハビリを続けている状態。「初レースでプレッシャーが無く、まったく緊張しなかった」自然体で臨めたことが結果につながった。

部員は大和田とマネジャーが1人。指導は主に独学で指導術を学んだ父・清義（きよし）さんが行っている。夏場は陸上部でトレーニングを積みながら自分で考えたメニューをこなしてきた。今季は帯広に仮設のリンクしかないため、12月からは毎日清義さんの運転する車で釧路の柳町リンクに通い、1日30分とわずかな時間ながら地道に調整してきた。

昨年は兄・司（北翔大1年―白樺学園高出）が同種目を制した。「兄にはまだまだ遠い。タイムよりも技術面で早く追いつきたい」と同じ競技者としての尊敬の念を抱く。

負傷明けで練習が足りていない分、体力や筋力などでまだまだ伸びしろはありそう。「まだ本は6、7割くらい。インターハイまでに体をつくり、1位になれたらうれしい」と控えめながらも意欲をのぞかせていた。

渡部（池田）1500準優勝

大会記録更新も「悔しい」

【男子千五百㍍】渡部知也（池田）は大会新の1分55秒97で2位となる滑りを見せた

○…男子千五百㍍は渡部知也（池田2年）が大会記録を更新する1分55秒97をマークしたが、同走の竹田翔平（駒大苫小牧3年）にわずか0・25秒及ばず準優勝。渡部は「700㍍までが遅かった。大会新が出たのでいい記録ではあるけれど、2位なので悔しい」と唇をかんだ。

昨年の千五百㍍全国覇者の渡部は今回2種目ともに準優勝に終わったが「練習を頑張って全国で2冠を狙う」と前向きに受け止めていた。

釣具エサ　アクツ釣具店
帯広市西4条南26丁目1　☎23-1473

優勝逃し悔しさ　後半の滑り課題

門奈津実

○…女子三千㍍で3位となった門奈津実（白樺学園2年）は「優勝したかったので悔しいけれど、この結果が今の実力」と淡々と振り返った。

修正点は後半の滑り。序盤は課題としている重心移動やストレートでの水を押すタイミングを意識しながら滑ることができるが、疲労がたまってくる後半にはその意識が薄れ思い通りの滑りができなかったという。門は「大事な大会まで時間はある。長い距離を滑れる脚づくりとタイミングの調整に励みたい」と気持ちを切り替えていた。

入り悪く焦る

女子千㍍準優勝の土田愛（駒大苫小牧3年―屈足中出）の話　アウトレーンでスタートということもあり、入りが悪くて焦ってしまいあまり良い出来ではなかった。もともとスタートが遅い方なので、全国では最初の200㍍でもう少し加速できるようにし、優勝を目指す。

神谷（白樺学園）初の2冠

勝つことに集中　全国制覇に意欲

○…女子五百㍍、千㍍と、高校で初の2冠を果たした神谷衣理那（白樺学園2年）は「タイムは気にせずとにあえず勝つことを意識した。（2冠は）高校に入って初めてなのですごくうれしいです」と笑顔を輝かせていた。

同組の土田愛（駒大苫小牧3年―屈足中出）の猛追を受けたが、本人がこの1年で最も成長を感じているというメンタル面の強さが勝利を手繰り寄せた。「後ろから来ている感じがあり焦って滑りがバラバラになったが、気持ちで負けないように頑張った」と

女子千㍍の表彰台は十勝勢が独占。表彰状を手にする2位の土田愛、優勝の神谷衣理那、3位の永田希絵（左から）

（25日・7位以下関係分）

＜道高校選手権＞

【男子】▽1500㍍（カルテット）

日本高校記録　土井　槙悟（白樺学園）　1分47秒33
道高校記録　土井　槙悟（白樺学園）　1分47秒33
大会記録　土井　槙悟（白樺学園）　1分56秒07
リンク記録　今井　裕介（山梨学院大）　1分53秒60
①竹田　翔平（駒大苫小牧）　1分55秒72
②渡部　知也（池田）　1・55・97　＝以上大会新
③大和田　真（本別）　1・59・09
④阿部　考平（白樺学園）　2・0・39
⑤田中　壮洋（池田）　2・2・49
⑥古河　尚幸（帯南商）　2・2・72
⑦中川敬（帯工）2・4・49⑰羽田野一輝（白樺学園）2・8・80㉑佐山和男（池田）2・13・09㉓高山繁人（帯農）2・15・86

＜国体道予選＞

【男子】◇少年▽1500㍍
①岸田　昌也（白樺学園）2分4秒27
②松井　宏佑（駒大苫小牧）　2・5・37
③高浪　健太（白樺学園）2・7・83
（リンクコンディション＝天候曇り、風無し、気温4.0度、氷温マイナス3.5度、25日午前9時現在）
（24日・7位以下関係分）

＜道高校選手権＞

【男子】▽1000㍍
日本高校記録　加藤　条治（山形中央）　1分10秒67
道高校記録　小原　唯志（白樺学園）　1分10秒80
大会記録　平野　将紀（池田）　1分15秒21
リンク記録　今井　裕介（群馬スケート連盟）　1分13秒31
①大和田　真（本別）　1分17秒25
②中村　駿佑（駒大苫小牧）　1・17・46
③小室　拓也（白樺学園）1・18・63
④田中　壮洋（池田）　1・19・04
⑤田中　穣（駒大苫小牧）　1・19・15
⑥佐々木一馬（駒大苫小牧）　1・19・16
⑦阿部考平（白樺学園）1・19・43⑧村上右磨（帯工）1・20・12⑩池田大輝（白樺学園）1・20・50⑪吉田昌平（池田）1・20・83⑬古河尚幸（帯南商）1・21・42⑭中川敬（帯工）1・21・50⑱佐々木信貴（帯南商）1・23・22⑳永田龍次（帯三条）1・25・26㉓後藤隆弥（帯農）1・29・81㉔銭谷大樹（帯南商）1・34・49
（リンクコンディション＝天候晴れ、西の風4.5㍍、気温3.9度、氷温マイナス2.2度、湿度37％、24日午後0時30分現在）

【女子】▽1000㍍
日本高校記録　辻　麻希（白樺学園）　1分17秒88
道高校記録　辻　麻希（白樺学園）　1分17秒88
大会記録　辻　麻希（白樺学園）　1分22秒36
リンク記録　吉井小百合（日本電産三協）　1分20秒82
①神谷衣理那（白樺学園）1分25秒40
②土田　愛（駒大苫小牧―屈足中出）　1・26・27
③永田　希絵（帯南商）　1・27・07
④佐藤　絢香（駒大苫小牧）　1・27・24
⑤押切美沙紀（駒大苫小牧―中札内中出）　1・27・63
⑥佐々木沙綾（釧路北陽）1・28・32
⑦中村今日子（帯三条）1・28・87⑩関口莉菜（帯南商）1・30・02⑫佐藤志保（帯農）1・31・35⑭松田早幾（白樺学園）1・32・86⑮箭内めぐみ（白樺学園）1・33・64⑯佐藤侑加（帯南商）1・33・84
（リンクコンディション＝天候曇り、南西の風0.3㍍、気温4.1度、氷温マイナス3.8度、湿度42％、24日午後1時45分現在）

▽3000㍍（カルテット）
日本高校記録　石野枝里子（白樺学園）　4分9秒26
道高校記録　石野枝里子（白樺学園）　4分9秒26
大会記録　石野枝里子（白樺学園）　4分23秒22
リンク記録　石野枝里子（富士急行）　4分17秒26
①歸山　麻衣（駒大苫小牧）　4分36秒73
②大森亜珠香（釧路北陽）4・39・28
③門　奈津実（白樺学園）4・40・77
④阿部　友香（駒大苫小牧）　4・44・21
⑤石川陽向子（標茶）　4・44・88
⑥髙木　菜那（帯南商）　4・46・25
⑩川口愛莉（帯南商）4・53・87⑫阿部美沙希（白樺学園）4・59・97⑬柏崎有砂（白樺学園）5・0・71⑭高山夏季（帯農）5・3・02⑯秋山佳菜（帯南商）5・20・53
（リンクコンディション＝天候晴れ、南西の風0.1㍍、気温4.4度、氷温マイナス2.1度、湿度36％、24日午前11時40分現在）

＜国体道予選＞

【男子】◇少年▽1000㍍
①岸田　昌也（白樺学園）1分20秒46
②紺野　潤平（白樺学園）1・20・72
③岩城　暁（白樺学園）1・21・64
④平間　圭修（駒大苫小牧）　1・21・70
⑤新井田知輝（駒大苫小牧）　1・21・81
⑥林　央（白樺学園）1・22・02
⑦清水証（白樺学園）1・22・92⑧羽田野一輝（白樺学園）1・24・23
（リンクコンディション＝天候晴れ、南西の風2.3㍍、気温3.9度、氷温マイナス3.6度、湿度44％、24日午後1時7分現在）

【女子】◇少年▽1000㍍
①大出　結花（駒大苫小牧）　1分28秒07
②土田　泉（駒大苫小牧―屈足中出）　1・29・84
③木田　真生（駒大苫小牧）　1・30・50
④佐藤　麻美（駒大苫小牧）　1・33・17
⑤小山内まりい（釧路北陽）　1・33・44
⑥菅原　梢（駒大苫小牧）　1・33・96
⑦高石紗佑里（帯南商）1・35・17
（リンクコンディション＝天候晴れ、西の風4.0㍍、気温4.4度、氷温マイナス3.3度、湿度40％、24日午後2時17分現在）

南国ゴルフツアー参加あす締め切り

来年1月18日から3泊4日の日程で行われる第18回かちまい南国杯争奪宮崎ゴルフツアー（名鉄観光サービス帯広支店主催、十勝毎日新聞社後援）の参加申し込みが26日で締め切られる。コンペは2日間で、1日目は宮崎カントリークラブ、2日目は青島ゴルフ倶楽部。旅行代金はとかち帯広空港発着で14万5000円。問い合わせ、参加申し込みは名鉄観光サービス帯広支店（0155・25・0471）へ。

スポーツPR情報局

応援に行こう

■日本アイスホッケーリーグ北海道・タダノ―釧路厚生社＝28日午後2時、帯広の森アイスアリーナ。
■北方領土返還祈願元旦三社詣マラソン大会＝1月1日午前8時半、JR帯広駅。同9時半出発、帯廣神社―明神大社―三吉神社―JR帯広駅の約6キロ。
■第12回シニアオープンバスケットボール大会＝1月2日正午、帯五中体育館。
■勝毎杯全十勝団体卓球大会＝1月4日午前8時40分、帯広市総合体育館。
■十勝スキー技術選手権大会＝1月4日午前8時半、サホロスキー場。
■第30回全十勝室内ジュニア単テニス大会＝1月7―9日、帯広の森体育館、帯広市総合体育館。
■社会人アイスホッケー強化チャレンジカップ＝1月7―26日、帯広の森アイスアリーナ、帯広の森スポーツセンター。

読者のPR情報をお寄せください
代表者の連絡先を忘れずに！
FAX 0155-25-2700
手紙 〒080-8688 帯広市東1南8 十勝毎日新聞社 編集局 スポーツテスクあて
Eメール sports@kachimai.co.jp
〈随時掲載〉

かちまいスポーツ
記録の速報は▶kachimai.mobi
写真がほしい▶TEL0120-25-9410